

2007 年度第4回理事会議事要約

日 時 平成 19 年 11 月 16 日(金)15:00~18:00

場 所 精密工学会会議室

出席者 会 長:下河邊 明 他委任状 8 を含む24名の理事

議 事1 前回議事録確認の件(資料「理 '07-4-1」)

・9 月 7 日開催の第3回理事会議事録を承認した。

議 事2 前回総務・財務委員会の件(資料「理 '07-4-2」)

・10 月 12 日開催の第3回総務・財務委員会議事録を了承した。

議 事3 各部会委員会報告の件

1 事業部会

1) 下記の事項につき一部修正も含め承認した。

①「2008 年度の専門委員会活動に関する諸施策の具体的進め方」は、次のように対処することになった。

- ・実施に当って、手続きも含め具体的かつ懇切に対応すること。
- ・引当金の出し入れに際しては事業計画にその趣旨を明記すること。
- ・引当金規則の表現を具体化すること。

② 専門員会(微細加工と表面機能)新設を承認した。但し、「分科会に残金がある場合は、決算にあたって学会に返納すること」との付帯要件が付けられた。

③2008 年度春秋大会の各実行委員会メンバーの追加の提案。

④CPD 運用に関する相互協力協定(機械系学協会)について基本的に了承し、発足にあたっては参画することにする。

⑤ASPEN2009 について、韓国での今回の合意に基づき日本で開催する。開催地は北九州地区で九州支部と本部の連携で実施する(周年事業の一環と位置づける)。

2) 下記の報告があり了承した。

①第 324 回講習会の実施結果および第 325~327 回講習会の準備状況

②2007 年秋季大会(旭川)の収支報告およびベストオーガナイザー賞、ベストプレゼンテーション賞の決定

③2008 年度春季大会(明治大学)の準備状況

④国際交流委員会より以下の報告あった。

・各国の学会等の連合組織としての ASPEN (Asian Society for Precision Engineering and Nanotechnology) の設立方向が決まったことにより、JSPE においても本会に対する体制作りを行なう。新 ASPEN および 2009 会議の Chairman については本会会長および九州支部を考える。

・ASPEN2009 のプログラム委員長を初澤先生にお願いする。尚、関西支部の周年事業企画「アジア地域精密工学会 事務局の平塚です。工学シンポジウム」は本会議に盛り込むこととする。

・2008 年 ASPE において議論されてきた ICPE については、JSPE セッションと位置づけ、できるだけ従来の ICPE とは切り離れたものとする方向での対応を考える。キーンノートは竹内芳美先生ほか3名ほどの講演者を用意する。

2 出版部会

定常の委員会開催予定のほか、75周年事業関連(記念特集号、電子校閲システム)について報告があり、了承した。

3 広報・情報部会

下記の報告があり了承した。

①PE 誌 Vol.32, No.1 の JSPE 広告原稿の紹介

②専門用語解説文の Web 発信

③SEO 対策および Web デザインについての検討状況

4 財務委員会

2007 年度 10 月末日迄の収支計算書及び貸借対照表により財務状況を確認した。

5 周年事業実行委員会

各実行委員会の進捗状況報告(第1回理事会報告)があった。

6 本部 WG

新公益法人制度対応検討 WG(主査:国枝理事)より、本件の現状報告があった。①「公益認定」を取得することを仮方針として検討すること、②認定等に向けた概略スケジュール、および③この方針、計画に基づき本 WG は継続して活動すること を了承した。

議 事4 名誉会員・永年会員候補者推薦および賛助会員表彰の件

2007 年度第3回総務・財務委員会で推薦した下記につき、全てを承認した。

・2008 年度名誉会員4氏 ・2008 年度永年会員5氏 ・2007年度賛助会員感謝状贈呈4社

議 事5 2008 年度活動計画/予算概要の件

事業部会、出版部会および広報・情報部会の 2008 年度活動計画、予算概要を承認した。

議 事6 2007年論文関連賞選考委員の件。

・2006年論文関連賞第一次選考委員について原案通り承認した。

議 事7 その他

1 第37回日本産業技術大賞推薦の件(学会㍻切1月18日)

2 外部機関関連

- ・ 横幹連合会長懇談会と京都宣言の件： 帯川利之先生が代理出席
- ・ 標準化調査研究テーマ募集の件

3 会員状況の件

・平成18年10月の入会者等： 個人会員38名、賛助会員1社を承認した。、退会者は個人会員3名であった。